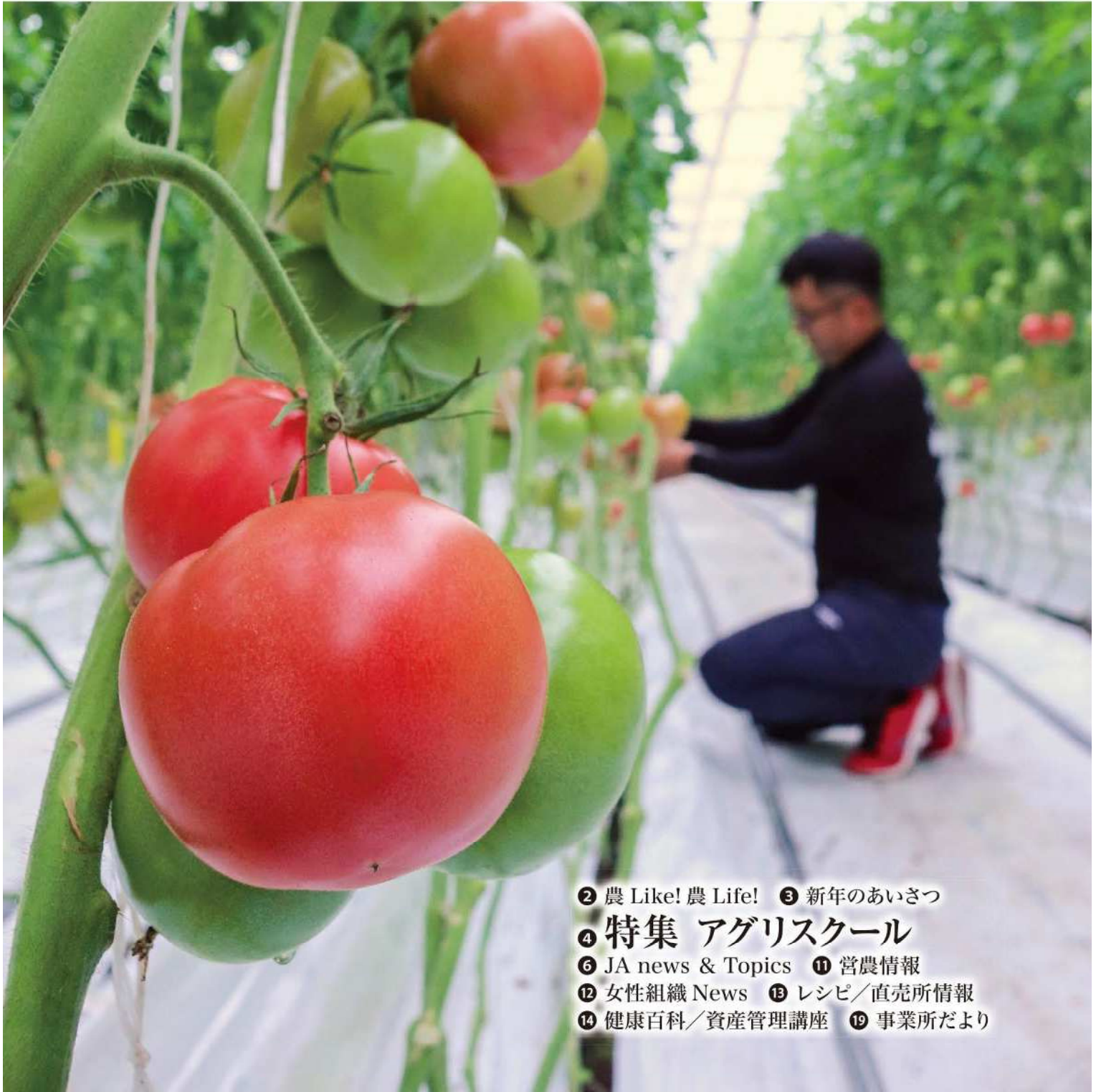


アグリジャンプ



- ② 農 Like! 農 Life! ③ 新年のあいさつ
- ④ **特集 アグリスクール**
- ⑥ JA news & Topics ⑪ 営農情報
- ⑫ 女性組織 News ⑬ レシピ/直売所情報
- ⑭ 健康百科/資産管理講座 ⑰ 事業所だより



Instagram



公式HP



JAうつのみやイメージキャラクター
ジャンプくん



耕そう、大地と地域のみらい。



農 Like! 農 Life!

熱意ある農業者を紹介

環境制御で品質向上 「おいしい」を支える技術と努力

❶ 就農したのはいつですか？また、就農したきっかけなどを教えてください。

❶ 2010年9月です。幼い頃から農業に向き合う父の姿を見て育ち、中学生の時には「将来は農家になる」と心に決めていました。農業系の高校・大学へ進学し、その後は小売店に就職して幅広い知識や経験を積みました。十分に学べたと感じたタイミングで退職し、父の下で本格的に修業を開始。トマト専門部の勉強会に積極的に参加したり、周囲の先輩方に教を請うことで技術を磨きました。新しくハウスを建設したタイミングで父とは経営を分け、現在はパート従業員3人と共に日々の作業に取り組んでいます。

❷ 管理作業で特に心がけていることはありますか。

❶ ハウス内の環境を整えるため、ハウスを建設した当初から「アグリネット（農業用ICTクラウドサービス）」を導入しています。温度・湿度・水・日射量などハウス内の環境をモニタリングできるので、週に1回程度設定を変えながら管理作業を行っています。トマトにとって常に快適な環境を整えることで、トマトの病気が減り、果実の肥大にもつながっています。

❸ 省力化や効率化で取り組んでいることはありますか。

❶ 時折、収穫や管理作業が遅れてしまうことがあったため、2025年から電動作業台車用のレールを通路ごとに設置しました。スムーズに走行できるようになったことで作業スピードが大幅に向上しました。一方で、最近の課題は夏の暑さです。定植時期が8月下旬であるため、対策として遮光材や外気導入システムなどを活用し、夏場のハウス内環境を改善することで、収量を安定させていきたいです。

❹ 今後の目標などについて教えてください。

❶ まずは反収を増やすことです。10アール当たり30トンを目ざし、将来的には人材を確保して規模拡大を進め、地域農業の発展に貢献していきたいです。また学校給食センターと連携して、3～4年ほど前から年に1回近隣中学校で食育や農業に関する講話を行っています。講話を通して農業のおもしろさやトマトのおいしさを伝えていきたいです。

うえ の しゅん すけ
上野 俊介さん(42歳)

上三川支所管内

経営内容

トマト

令和8年 新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新年をお迎えることとお喜び申し上げます。旧年中は、組合員・利用者の皆さまに多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年は、戦後80年・昭和100年という節目の年であり、55年ぶりとなる日本での万博開催や、初の女性首相の誕生など、大きな変化に富んだ一年となりました。また、賃金と物価のギャップや熊をはじめとする野生動物との関係性、情報

の真偽を見定める重要性など、私たちが向き合うべき課題も浮き彫りになった年でもあります。

世界に目を向けますと、ウクライナ・ロシア戦争、イスラエル・ハマス戦争に象徴される地政学リスクの高まりに加え、米国の関税政策が世界経済に大きな影響を与えるなど、国際情勢は依



宇都宮農業協同組合 代表理事組合長

佐藤 俊伸

地域になくってはならない 組織であり続けるために

然として不安定な状況が続いております。こうした不安定化は資源価格の高止まりを招き、さまざまな物価高騰につながっています。

国内では、高市早苗首相が誕生し新内閣が発足いたしました。農林水産大臣には、農水省の職員でもあった山形県選出の鈴木憲和氏が就任され、早速、米について「需要に応じた生産が基本」との姿勢を示されました。今後、持続可能な農業を築くためにも、現場の声を具体的な農業政策に反映していくことが一層重要であると考えております。

上昇で、現行の算出方式となった平成20年以降、過去最高となりました。JAでの安定した集出荷を通じ、米価下落を招かぬよう、今後とも需要に応じた生産体制の確立に努めてまいります。

本年は、3か年計画「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力」協同活動と総合事業の好循環」の中間年度に当たります。JAグループの存在意義である「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現することを目指す」を着実に取り組みを進めてまいります。

世界の状況を振り返りますと、梨はカメムシの異常発生や高温障害などの影響が懸念されたものの、単価が堅調であったことから、販売高は約12億9千万円と過去最高を更新するとともに、4年連続での12億円超えとなりました。イチゴについても「とちあい」の作付面積拡大などにより、販売高は約53億円と過去最高を記録いたしました。

米につきましては、「令和の米騒動」といわれる状況が続いております。本県の米概算単価は、コシヒカリ一等で1俵3万1千円と昨年より9千円の

また、JAうつのみやの理念である『希望の持てる農業』と『地域のみなさまの快適なくらし』の快速なくらしの「実現づくり」の実現

に向け、管内の農業と組合員・地域の皆さまにとって「なくては困る」「あつて良かった」と言っていたただけの組織であり続けられるよう、地域・行政との連携を深めながら、役員一丸となつて取り組んでまいります。今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとってより良い一年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のあいさついたします。

代表理事組合長	佐藤 俊伸
代表理事専務	半田 光隆
代表理事常務	見形 繁
代表理事常務	阿久津敏明
代表理事	田野 茂
常勤監事	増淵 昭雄
理事(中央)	池田 久雄
理事(平石)	鈴木 和弘
理事(南部)	本多 幸子
理事(南部)	金田 裕重
理事(南部)	篠塚 邦善
理事(城山)	天谷 玉枝
理事(北部)	中山 利久
理事(北部)	福村 和夫
理事(清原)	山口 幸夫
理事(姿川)	今泉 弘
理事(上河内)	福嶋 修
理事(上河内)	大森 貞克
理事(河内)	矢口 正威
理事(河内)	郷間 清博
理事(南河内)	鈴木 正光
理事(上三川)	上野 誠
理事(上三川)	坂入 典文
理事(上三川)	高木 浩巳
理事(女性会)	稲葉 隆一
理事(女性会)	所 洋子
理事(城山)	丸山 明子
監事(上河内)	篠原 貴也
監事(上三川)	地神 康弘
監事(員外)	國谷 修一
監事(員外)	矢古宇 克



農業のために 地域のために 明日のために
JA共済の地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI

2025年度JAくらしの活動 「アグリスクール」のご紹介

「アグリスクール」は、年間を通して農業体験や自然学習などを行い、食と農について楽しく学んでいただく場です。A～Eの5つのコースがあり、計24組の皆さまにご参加いただきました。今回は7月から12月に開催した内容を中心に、参加者のコメントとともにご紹介します。※5・6月の活動内容は2025年7月号(P3)に掲載しました。



7/21 (月・祝)
田んぼの生き物調査
宇都宮市上欠町



参加者

田んぼに入ったとき、最初は不思議な感じがしたけど、楽しかった。アマガエルが捕まえられてうれしかった。



9/21 (日)
稲刈り体験
宇都宮市上欠町

参加者

稲刈りは初めてで、少し難しかったが楽しかった。刈ったお米は炊き込みご飯にして食べたい。



10/26 (日)
梨収穫体験
宇都宮市上籠谷町

参加者

梨の収穫体験は初めて。雨の中だったが、とても楽しめた。





10/11 (土)
さつまいも収穫体験
 宇都宮市下小倉町

参加者 童心に返ったような気持ち。
 宝さがしのように楽しかった。



11/1 (土)
菌床椎茸の栽培方法と収穫体験
 宇都宮市下ヶ橋町

参加者 収穫作業が楽しかった。シイタケは苦手
 だけれど、食べてみようと思う。



9/27 (土)
稲刈り体験教室
 宇都宮市中里町

参加者 労力に対し収穫できる米の
 量が少なく、昔は大変だっ
 たのだと改めて感じた。と
 ても良い体験だった。



12/13 (土)
干しいも作り体験
 上三川町多功

参加者 いろいろ作業が
 あったけれど、
 全部楽しかった。



10/4 (土)
JAうつのみや産農畜産物を使った料理教室
 学校法人三友学園IFC調理製菓専門学校

メニュー 「とちぎゆめポーク」のソテー～梨入
 りカレーソース～、宇都宮牛と小松菜
 のスパニッシュオムレツ、ニラとキュウ
 リとチーズのサラダなど5品。

参加者 今回の料理教室も楽しかった。
 家でもう一度作ってみたい。



シュンギク出荷数量84トン目標 JA春菊専門部



目ぞろえをする参加者

JA春菊専門部は11月7日、JA南部営農経済センターで2025年産シュンギクの販売対策会議と出荷目ぞろえ会を開きました。販売対策会議では、JA担当者が販売計画を説明。資材高騰や異常気象、消費者動向の変化、物流の問題などに対し、産地・市場・関係機関が一体となって生産・販売活動に取り組んでいくことを決めました。目ぞろえ会では、市場担当者と専門部員がサンプル品を手に取り、葉の色や長さ、量目、袋詰めの際の注意点を確認。JAの担当者は①病害・食害・とろけ・傷みのあるものは出荷しない②袋や箱への異物混入に注意する—などを呼びかけました。

中核的担い手と地域農業を検討 JA



JA南部営農経済センターであいさつをする
佐藤俊伸組合長 (11月12日)

JAは11月上・中旬の4日間、管内4カ所のJA営農経済センターで「地域農業振興検討会」を開き、担い手と地域農業の課題や将来像について意見を交わしました。

JAの担当者が、「耕種」「園芸」「畜産」ごとに現状と10年後の予測、目標値を説明。担い手確保育成対策として「新たな農業者の確保」、生産振興対策として「現生産者の規模拡大・所得増大」などを重点項目としました。また、①集落営農・個人法人化に向けた支援②栽培講習会などによる高温対策指導の強化③親元就農・園地の第三者承継など担い手確保支援—などの具体的取り組み事項を共有しました。

役員と課題や活動内容を共有 JA青壮年部



意見を交わす参加者

JA青壮年部は11月13日、宇都宮市内でJA常勤理事との意見交換会を開きました。本年度は参加者を2テーブルに分け、常勤理事が時間ごとにテーブルを移動する形式を採用。盟友と直接対話することで、より詳細な意見集約が図られました。また、昨年度の意見に対する対応状況の報告も行い、内容の充実につながりました。

青壮年部盟友からは、①米価・販路拡大への対応②担い手不足や耕作放棄地対策、地域の受け皿組織の検討③農業機械・資材価格高騰への対応④獣害対策⑤情報発信基盤の強化⑥青壮年部組織の維持—など、幅広い意見・要望が寄せられました。

冬ニラ品質向上と防犯強化 JAニラ専門部



目ぞろえをする参加者

JAニラ専門部は11月中旬の2日間、冬ニラの出荷目ぞろえ会を開きました。専門部南支部はJA上三川野菜集荷所で開きました。JA担当者が2026年産冬ニラの販売基本方針を説明。販売目標を販売金額2億2275万円、出荷数量270トンとしました。目ぞろえでは、市場担当者が現物を使い出荷規格を説明しました。

目ぞろえ会後は、上三川町を中心にニラの盗難が発生したことを受け、県河内農業振興事務所が防犯研修会を開催。下野警察署の担当者らが被害状況や防犯対策などを説明。ほ場出入り口の施錠や、警報センサーの設置などを呼びかけました。

地域農業振興へ補助拡充など前進 宇都宮農業協同組合農政対策協議会



あいさつをする佐藤俊伸会長

宇都宮農業協同組合農政対策協議会は11月21日、宇都宮市で農業施策懇談会を開き、8月に提出した施策要望書への宇都宮市の回答を受けて意見交換をしました。要望は①担い手支援（補助事業の拡充・予算の確保）・生産基盤維持対策②スマート農業の推進対策③環境に配慮した農業生産への支援④農産物の盗難防止対策への支援—の4項目。

佐藤栄一市長は、「農業は市民の命を支える重要な産業。皆さまのご意見を伺い、改めて農業の重要性を強く感じた」と述べ、「農業の将来を担う農業者の維持・確保は重要であり、JAと連携しながらさまざまな取り組みを行っていく」と総括しました。



梨剪定ポイント実技を交え説明 JA梨専門部



熱心に説明を聞く参加者

JA梨専門部は11月下旬の3日間、4支部ごとに剪定講習会を開きました。清原支部は、宇都宮市の山口賢二さんの園地で開きました。県河内農業振興事務所の担当者が、若木の先端の誘引や結果枝の更新など剪定のポイントを説明。日焼け果を防ぐため結果枝の間隔は葉の大きさや新梢の発生を考慮し、品種ごとの目安を基準に配置するよう求めました。また、結果枝が少なくなる場合は、予備枝や転がし枝を確保して棚面の葉枚数を保つよう呼びかけました。

実技講習ではJAの半田陸夫技術顧問が、予備枝の長さの取り方について実技を交えて指導しました。



上三川町に施策要望書を提出 宇都宮農業協同組合農政対策協議会



星野町長（右から3人目）に要望書を提出

宇都宮農業協同組合農政対策協議会は11月27日、上三川町役場で、星野光利町長に「令和8年度上三川町農業に関する施策要望書」を提出しました。

同協議会の佐藤俊伸会長は、米に関して「価格高騰などもあり、現在は作り続けられているが、今後については先が見通せず、安心して農業経営が続けられる状況にはまだない。今後も持続可能な農業を確立するため、現場の声を具体的に取り上げ、反映していくことが大切」と強調しました。星野町長は「個々の要望を細かく精査し、今何が必要で、どのように進めていくかを研究しなければならない」と話しました。



「スカイベリー」年末年始商戦へ一丸 JA苺専門部



目ぞろえをする参加者

JA苺専門部は11月25日と27日の2日間、上三川町と宇都宮市の野菜集荷所で、イチゴ「スカイベリー」の出荷目ぞろえ会を開きました。

JAの担当者が、出荷指導規格を説明。各規格ともボリューム感のある「消費者に喜ばれる、魅力ある商品作り・満杯詰め」を原則とするよう案内しました。また「スカイベリー」ブランドの確立に向け、連日収穫・早朝収穫の実践、熟度の統一徹底、県が次回行う統一目ぞろえ会までのカラーチャートを集荷所着時「2」とすることなど、6項目を申し合わせました。目ぞろえでは、市場担当者が現物を使い出荷規格を説明しました。



平石地区文化祭・農業祭 (11月2日)



清原地区文化祭・農業祭 (11月2日)



みんなで楽しむ実りの秋!
地区のお祭りに参加 (11月)

今年も各会場、盛り上がりました。



横川ふれあいまつり (11月2日)



豊郷まつり (11月9日)



中央地区農業祭 (11月9日)



中学生の職業体験を受け入れ
(11月5~7日、10~14日)

JAは管内市立中学校の2年生を対象とした社会体験学習「宮っこチャレンジウィーク」に協力しました。



星の杜中学校 (園芸課)



若松原中学校 (南部営農経済センター)



調理する会員

みどり会姿川支部が調理ボランティア
(11月10日)

JA女性組織みどり会姿川支部は、昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。

協議する出席者



JA梨専門部産地維持計画書
作成に向けて協議 (11月10日)

第3回目となるJA梨専門部産地維持計画書作成実行委員会を開催しました。

専門部が提供したバラ



農林業祭のイベントで 当JA産バラをPR (11月10日)

宇都宮市役所で開かれた宇都宮市農林業祭のイベント「フラワーディスプレイ」を見学した方へ配布する花を、JAバラ専門部が提供しました。

サツマイモを
収穫する参加者



地域住民とサツマイモ掘りを楽しむ (11月15日)

川俣町集落営農組合は、地域の遊休農地を活用し、地域住民に呼びかけサツマイモ掘り体験を実施しました。

玉串拝礼をする
加藤さん



献穀米の収穫を祝う 日光東照宮神田抜穂祭 (11月19日)

日光東照宮へ奉納する献穀米の収穫を祝う「日光東照宮神田抜穂祭」が、2025年の奉耕者の加藤一美さん宅で行われました。

箱根神社



JA中央支所で合同旅行を実施 (11月12、13日)

JA中央支所は、年金友の会・事業運営委員・農協委員合同で、箱根・伊豆方面への旅行を実施しました。

4部門の表彰状



県JA広報活動コンクール4部門受賞 (11月18日)

JAうつのみやが「令和7年度栃木県JA広報活動コンクール」において、「パブリシティの部」と「組合員向け広報誌の部」で最優秀賞を、また「総合の部」と「SNS等活用の部」で優秀賞を受賞しました。日頃より広報活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

講師から
操作方法を
学ぶ会員



みどり会2支部合同でスマホ教室 (11月19日)

JA女性組織みどり会上河内支部と河内支部は、合同で「スマートフォン教室」を開きました。

ほ場について説明する生産者



ヨークベニマル青果マネジャーと意見交換 (11月20日)

JAは、株式会社ヨークベニマルの青果マネジャーを招いて意見交換会を開きました。



販売ブースの様子



コープフェスタに出展 (11月22日)

JAは宇都宮市のマロニエプラザで開かれた「コープフェスタinうつのみや」に出展。梨「にっこり」とシイタケ、トマト、米をPRしました。



説明を聞く参加者



直売所出荷者向け講習会を開催 (11月27日)

JAはJA南部営農経済センターで、直売所出荷生産者を対象にした栽培講習会を開きました。

目ぞろえをする参加者



加工用ニンジン出荷目ぞろえ会を開催 (11月21日)

JAは、カゴメ株式会社向け加工用ニンジンの出荷目ぞろえ会を開きました。

表彰を受ける鈴木和弘氏



組合員 酒造好適米生産者として鈴木農場が受賞 (11月25日)

栃木県酒造組合による「令和7年産酒造好適米生産者表彰」が行われ、当JA管内の株式会社鈴木農場が受賞しました。

半田睦夫技術顧問の説明を聞く参加者



[JAグリーンかみかわち] 出荷者向けブドウの講習会を開催 (11月28日)

JAは「JAグリーンかみかわち」出荷生産者を対象にしたブドウの整枝剪定講習会を開きました。

組合員の皆さまからの地域の話や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
 ※誌面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総合企画課組合員広報係まで。
 ※最新のイベント情報などは、JAうつのみや公式Instagramに掲載しております。ぜひご覧ください。



水稲

令和7年産米の概要

7年産は栽培期間を通して昨年と同様に気温が高く、日照時間も多かったことから生育は昨年よりも早く進む状況でした。草丈は前年並みでしたが、最高分け期の茎数は前年より少なくなりました。

出穂は昨年産と同じく7月23日でした。8月は好天が続いたため、登熟期間に気温が高く日照時間も多かったことが影響し、収量は528kg/10a(作況100)となりました。

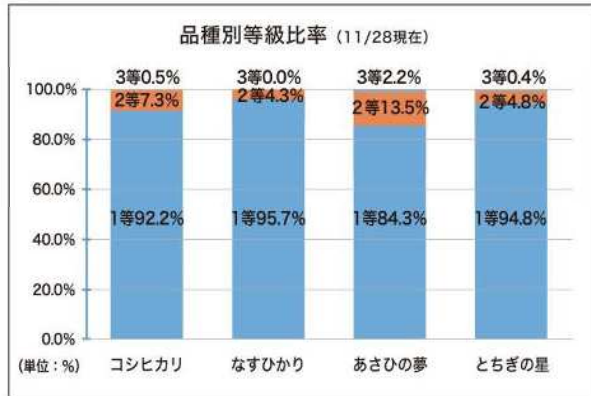
品質については、前年に引き続き気温が昨年より高く推移したため、胴割粒などの高温障害の発生が増加し、カメムシによる被害も増加しました。



栃木県の10aあたり収量および作況指数
(10月25日現在)

	収 穫	作況指数
栃木県	521kg	100
県北	548kg	101
県央	528kg	100
県南	471kg	99

表1



令和7年産米の等級

7年産コシヒカリの11月28日現在の1等比率は92・2%、2等は7・3%、3等は0・5%でした(表1)。2等以下の格付け理由はカメムシが57・2%と最も多く、次いで部分着色が12・5%でした(表2)。

カメムシによる被害が近年増加しています。加えて昨年産より県内でイネカメムシの被害が確認されています。生育状況をしながら適期防除に努めましょう。

麦

麦踏み

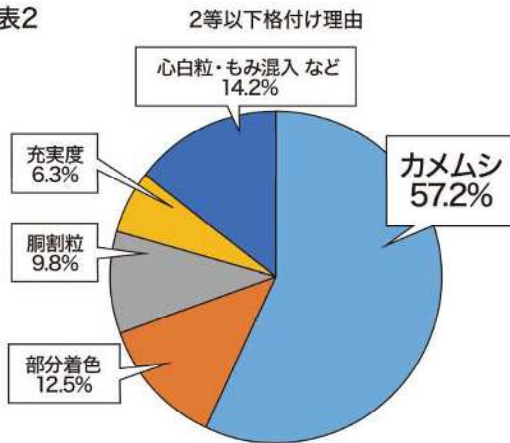
麦踏みは地上部の過剰生育を抑制しながら分けつを旺盛にし、根張りを深くするとともに茎葉汁液濃度を高め、耐寒性を増大させる効果があります。

年末に1〜2回、1月以降は茎立期(3月上旬)直前までに2回程度実施しましょう。

なお、麦踏みは降雨(雪)後では場が湿っている時や、凍結層がある時は行わず、ほ場が乾いた状態の時に実施しましょう。



表2



排水対策の実施

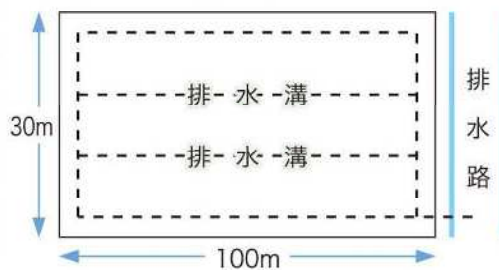
麦は全ての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近では地球温暖化の影響で、雨が一回に激しく降る傾向が強くなり、降雨日の降水量が多くなっています。

排水対策が未実施のほ場については、ほ場への排水溝の設置などをできるだけ早期に行いましょう(図1)。また、設置済みのほ場については、定期的な点検を行いましょう。

【図1】排水対策の例



ほ場周囲の排水溝



みどり会中央支部



園児を招待した「れんげ祭り」



お花見会

2025年度のみどり会中央支部は、3月の総会・手芸教室を皮切りに、お花見会、料理教室、寄せ植え教室、地区農業祭、はとバスでの都内観光と、さまざまな活動を実施することができました。

また、昨年度から開始した月1回のサロンも継続し、料理や手芸を楽しみながら、会員同士の交流を深める場として定着してきています。

さらに、農業祭実行委員と協力し、レンゲとヒマワリ栽培のお手伝いも行い、地域の園児たちを招いてお花見会を開催するなど、地域とのふれあい活動も充実しました。

年度末まで引き続き会員みんなで協力しながら、より一層楽しい事業を考えていきたいと思っております。

みどり会豊郷支部

みどり会豊郷支部は、2025年度を会員40人でスタートし、新たに2人が加わって、現在42人で活動しています。今回は、その活動の一つである研修旅行をご紹介します。

昨年度は「憧れの県外」をテーマに茨城県房総方面へ出かけましたが、今年度は「さらに遠くへ」という声を受け、10月3日に長野県軽井沢方面へ研修旅行を実施しました。

3時間のバス移動後、最初の目的地「軽井沢絵本の森美術館」へ。企画展の「イソップ童話とどうぶつ絵本」を楽しみ、自然散策も満喫しました。続いて「軽井沢発地市場」へ移動し、直売所での買い物を楽しみました。

その後、今回の目玉である「軽井沢銀座商店街」にて自由昼食と散策を実施。各自食べ歩きや買い物を堪能しました。自由時間は2時間と長く、帰りのバスでも話題が尽きず、楽しい旅となりました。

今後も一つのチームとして、子ども食堂の支援、地区イベントへの参加・協力など、明るい地域づくりに取り組んでまいります。



軽井沢絵本の森美術館



ほうれん草の さっぱり黒酢サラダ

材料 (2人分)

- ほうれん草.....1束
- ぶなしめじ.....1/2パック
- ツナフレーク.....1/2
- 塩.....少々
- こしょう.....少々
- QPテイステイドレッシング 黒酢たまねぎ.....大さじ3

作り方 (調理時間10分)

- ① ほうれん草は塩を加えた熱湯でゆでて水にとり、水気をしぼって食べやすい長さに切る。
- ② ぶなしめじは石づきを取り、小房に分け、ほうれん草と一緒にゆでて、冷ましておく。
- ③ ボウルにツナフレーク・①～②を入れ、ドレッシングで和える。

1人分 約155kcal
食塩相当量 約1.1g



直売所情報

旬のおいしいイチゴは
JA直売所で!

地方発送承り中!!

地方発送対象店舗

JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち



「JA苺専門部宇都宮支部青年部」 によるイチゴの消費宣伝

JAうつのみや管内で育てられたイチゴの試食販売を行います!
イチゴのおいしい季節に、自慢のイチゴをお召し上がりください!

場所 宇都宮駅ビルバセオ「えきの市場」内JA農産物直売所

日時 1/17(土) 13:30~15:00

お米 毎日特売!

ご好評につき、12月に引き続き1月も毎日

「みやおとめ(JAうつのみや厳選コシヒカリ)」を1割引きで販売いたします。

玄米5kg 税込 **3,915円** 対象店舗 JAグリーンインターパーク
JAグリーンかみかわち

※在庫状況により売り切れとなる場合がございます。 ※玄米は店頭で精米します。



JAグリーン かみかわち 生産者さん募集中!

詳しくは直売所担当者まで

TEL:028-674-2711

JA直売所のご案内 (1月)

店舗	電話	営業時間	定休日
「えきの市場」内JA農産物直売所	028-627-8438	10:00~20:00	1/1
JAグリーンインターパーク	028-656-1212	9:00~16:00	1/1~4、第2次曜日(1/13)
JAグリーンかみかわち	028-674-2711	9:00~17:00	1/1~5、第2次曜日(1/13)
上三川いきいきプラザ農産物直売所	0285-55-1515 <small>上三川営業経済センター(上三川)</small>	9:00~13:00	1/1~4、第2次曜日(1/13)、いきいきプラザ閉館日(1/29~31)

知って納得!

資産管理講座



小森 竜介法律事務所
弁護士

こもり りゅうすけ
小森 竜介

位置指定道路と通行妨害の話

Q 道路位置指定を受けた道路の敷地所有者が、道路上に障害物を設置したことから、通行の妨害となっています。これに対して近隣住民は、障害物の撤去を請求することができるのでしょうか。

A 道路位置指定を受けた道路を通行することが日常生活上不可欠な近隣住民は、道路の敷地所有者に対して、通行妨害行為の排除などを請求することができます。

道路位置指定とは、特定行政庁（都道府県知事や市町村長）において、政令で定める基準を満たしている私道を建築基準法上の道路として認定することをいいます。

都市計画区域および準都市計画区域内においては、建築物の敷地は幅員4メートル以上の道路（地下におけるものを除きます）に2メートル以上接していなければならないと定められていますから、この要件を満たしていない敷地には建築物を建てるできません。このような場合、私道を設けて道路位置指定を受けることで、前記要件を満たすようにします。

道路位置指定がなされると、道路としての通行を確保するために、道路内には建築物または擁壁などを建築することはできません。

その結果、道路位置指定を受けた道路であれば、何人も通行できますが、それは道路位置指定の反射的利益にすぎず、通行権が認められるためではないとされています。

しかし、道路位置指定を受けた道路以外に道路がないなど、近隣住民にとって当該道路を通行することが日常生活上不可欠の利益である場合は、道路の敷地所有者が近隣住民の通行利益を上回る著しい損害を被るなどの特段の事情がない限り、近隣住民は人格的権利として通行権を有するという判例があります。そのため、要件を満たす近隣住民は、妨害排除請求ができることとなります。

法律税務相談日

1月20日(火)

無料ですが予約が必要です。

最寄りの支所へお申し込みください。相談時間は午後1時から先着受付順です。資産管理や土地有効活用などもお気軽にご相談ください。

けんこうひゃっか

健康百科



上都賀総合病院
栄養課 係長

きむら しゅういちろう
木村 修一郎

冬が旬のほうれん草で免疫力アップ

ほ うれん草は1年を通して出回っていますが、寒さに強い野菜で冬に最もおいしさが増します。冬のほうれん草は甘味が増し、夏の約3倍のビタミンCが含まれ、寒さで免疫力が下がりがちなこの時期に、積極的に食べるのがおすすめです。

今回は簡単に作れて、冷えた体も温まる「鮭とほうれん草のクリーム煮」を紹介します。

鮭とほうれん草の クリーム煮



材料名(2人前)

- 鮭(甘塩).....2切れ(鮭は3~4等分に切り分ける)
- ほうれん草.....1/2束(ほうれん草は塩を入れたお湯でさっと茹で、流水で冷まし4~5cmに切る)
- 玉ねぎ.....1/3個(くし形に切る)
- しいたけ.....3本(石づきをとり薄切り)
- 塩こしょう.....少々
- 小麦粉.....大さじ2
- サラダ油.....適量
- バター.....20g
- 牛乳.....300cc
- 顆粒コンソメ.....小さじ1
- 粗びき黒こしょう.....適量(お好みで)

ほうれん草の選び方

- ・葉が大きく肉厚で鮮やかな濃い緑色
- ・茎が太く葉先にハリがある ・根本がきれいな赤色のもの

作り方

- ① 鍋にサラダ油を入れ、鮭を焼く。両面焼き色がついたら一度取り出す。
- ② 鍋をさっと拭き、バターを入れ玉ねぎ・しいたけを加えしんなりするまで炒める。
- ③ 小麦粉を加え具材とよくなじませたら、牛乳・顆粒コンソメを少しずつ入れとろみがつくまで弱火で煮込み、ほうれん草と鮭を加え塩こしょうで味を調える。
- ④ 器に盛りつけ、お好みで黒こしょうを振りかける。



撮るだけで



すぐ分かる



JAで試してみるとおトク!

今なら見積るだけで
抽選で
総計 **1,000** 名様に
素敵な賞品が当たる!



「さらに!」
自動車保険証券を
スマホで読み取ると
当選
確率 **5倍!**



JA 賞
500名様
(抽選725名様)
JAタウン
GIFT CARD
(10,000円)
全国各所のJAなどから
厳選した食材をお届けします。



A 賞
300名様
(抽選75名様)
ケルヒャー
高圧洗浄機
K 2 サイレント
K2シリーズ最高の洗浄力で
初めての得意モデル。



B 賞
200名様
(抽選50名様)
ダイソン
Dyson Micro Focus Clean
(ハンディクリーナー)
ダイソン史上最高性能。
手軽に室内や家中を掃除できます。



応募期間 2025年4月1日～2026年3月31日
応募締切 第1期:2025年6月30日 / 第2期:2025年9月30日 / 第3期:2025年12月31日 / 第4期:2026年3月31日

詳細な内容につきましては最寄りの支所までご連絡ください!
※ご連絡は裏表紙をご覧ください。

組合員総集会開催のお知らせ

今年度も、組合員の皆さまからのご意見・ご要望を賜り、事業計画や業務改善などに反映するため「組合員総集会」を開催いたします。

当日は、すべての会場に常勤役員、室・部長が出席し、より多くの組合員の皆さまと直接対話し、意見・要望にその場で答えできる体制を整えております。また、各地区の組合員同士が交流し、課題や意見などを共有しながら共通認識を持っていただける場となるよう、営農経済センターごとに開催いたします。ぜひご出席いただき、組合員の皆さまの声をお聞かせください。



〈開催日時・会場〉

営経センター(支所) 開催日時(令和8年)	開催場所	営農経済センター (支所)	開催場所
1月30日(金) 14:00~		上河内 (上河内・河内)	田原コミュニティプラザ 多目的ホール (宇都宮市上田原町1番地)
1月31日(土) 10:00~		宇都宮南部 (南部・平石・豊郷・清原)	宇都宮南部営農経済センター 2階会議室 (宇都宮市砂田町526番地)
2月3日(火) 18:00~		宇都宮北部 (北部・中央・城山・姿川)	宇都宮北部営農経済センター 2階会議室 (宇都宮市新里町丙286-1)
2月6日(金) 18:00~		上三川 (上三川・南河内)	上三川営農経済センター 3階大会議室 (河内郡上三川町上三川3237番地)

〈内容〉

- ①令和7年度の主な活動について ②事業概況報告について(組合員の状況、財務・事業実績の推移)
③令和7年度事業計画の取り組み状況(自己改革の実践)について ④JAからのお知らせ ⑤質疑応答

JAグループ栃木 大規模災害統一訓練実施のお知らせ

JAでは大規模災害の発生に備えて訓練を実施します。より災害発生時の実態に近づくため、訓練にはご来店中の皆さまにも参加していただく場合がございます。ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(1) 実施日時 **2026年1月22日(木)**
10:00~12:30

(2) 実施内容 ①身の安全確保
②建物からの避難を訓練します。

ATMにおける生体認証取引サービス 終了のお知らせ

平素より当JAをご利用いただき、誠にありがとうございます。このたび当JAでは、誠に勝手ながらATMにおける生体認証を利用した出金限度額の増額サービスにつきまして、2027年3月31日(水)をもちましてサービスを廃止させていただくこととなりました。

(新規取扱は2026年3月31日(火)をもって終了となります。)

ご利用の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

※一部ATMにつきましては、2026年2月より生体認証サービスのご利用が終了となります。詳細は窓口までお問い合わせください。

※一部ATMにつきましては、2026年2月より生体認証サービスのご利用が終了となります。詳細は窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ先

宇都宮農業協同組合 貯金為替課
Tel : 028-625-3385

マイカーローンキャンペーン実施中 JAネットローン (三菱UFJニコス保証型)

今すぐ
金利を
チェック

2026年2月27日(金)まで



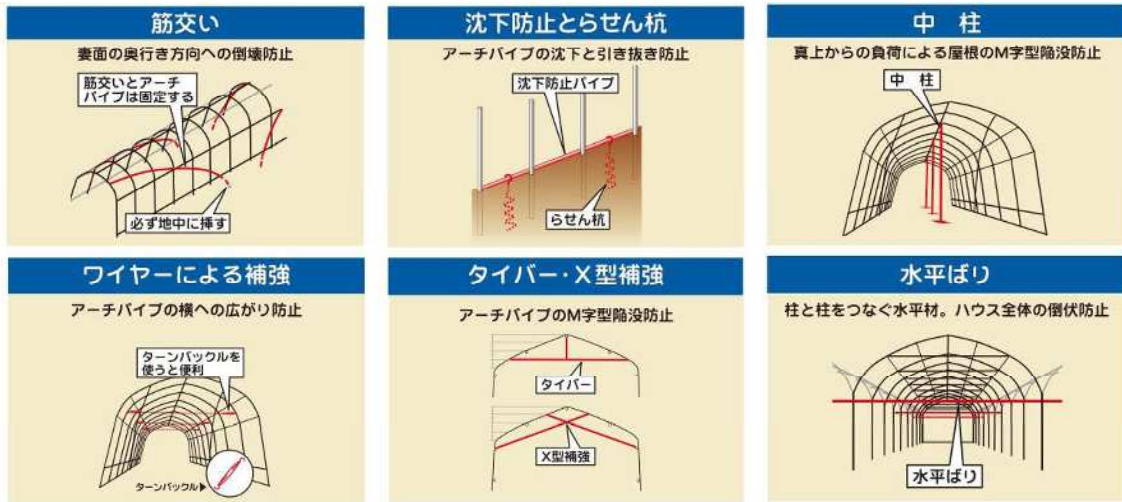
スマホからでもパソコンからでも
仮申込 OK!!

365日24時間
仮申込受付中!

JAネットローン 検索
<https://ja-netloan.jp/>



農業用ハウスの雪害対策



※引用 参考文献 農業用ハウスの雪害対策（栃木県農政部経営技術課技術指導班）

問い合わせ先：お近くの営農経済センターまで

農業労災保険加入申し込みのご案内

労災保険とは、労働者（※1）の業務または通勤による負傷、傷病、障害、死亡に対して保険給付を行う制度であり、個人事業主である農業従事者は本来、労災保険に加入することができません。しかし、農業の業務の実情や災害の発生状況などからみて、特別に任意での労災保険加入が認められています。この制度を**特別加入制度**といいます。

JAうつのみやでは万が一の農作業事故に備えていただくため、農業者のための労災保険特別加入をお勧めしております。未加入の方はぜひ労災保険へご加入ください。（※1）労働者…職種を問わず、会社や事業所などで雇用され、賃金を受けている人を指します。

●労働災害事例 農業は他の職業と比べて事故の多い職種です。

「熱中症になり病院に運ばれた」「脚立や足場から転倒し頭を打った」「クレーンやトラックなどの車両と接触・激突した」など。

●ケガをしたときどうすればいいの？ 労働災害の場合、労災保険を請求しましょう。

特別加入者が、作務中にケガをして病院を受診された場合、受診された病院窓口で労働災害であることをお伝えください。その際は、早期に最寄りの営農経済センターに状況などをご連絡ください。

●どんなケガが対象になるの？ 当JAで取り扱っている特別加入区分は2種類です。

・一定の経営規模以上の方が加入できる**特定農作業従事者**

・機械の指定はありますが、経営規模にかかわらず加入できる**指定農業機械作業従事者**

それぞれに補償範囲の制限があり、それに該当する場合に保険給付が行われます。

加入資格や補償範囲の制限、保険料率がそれぞれ異なるので営農の実態に応じて加入することが望まれます。

●年間保険料について 年1回の掛捨てで加入期間は4月1日～翌年3月31日までとなります。

例：指定農業機械作業区分で給付基礎日額を5,000円に設定した場合の年間保険料

給付基礎日額 5,000(円) × 日数 365(日) × 保険料率 0.3(%) = 5,475(円)

給付基礎日額とは、保険給付額を算定する基準となるもので、ご自身の所得水準に合わせて3,500～25,000円の間で設定することができます。

各区分の保険料率は、特定農作業区分0.9%、指定農業機械区分0.3%となっております。（※2）

（※2）年間保険料の金額は令和7年度の料率を基にした参考値となっております。

●JAでのお手続き

事業主や家族従事者・集落営農組織の方を対象にお手続きをしております。その他（パート・アルバイトなど）はJAではお手続きができませんので、お近くの労働基準監督署でお手続きをお願いいたします。

申込受付期間：令和8年2月2日（月）～2月27日（金）

お申し込み、お問い合わせは、最寄りの営農経済センター（本紙裏表紙記載）まで！

まちがいがさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



出題・イラスト：酒井栄子

正解者の中から抽選で5名の方に千円分のクオカードをプレゼント！なお、当選者はクオカードの発送をもって発表に代させていただきます。

まちがいがさがし プレゼント応募方法

間違っている部分の数字を5つ、ハガキかホームページ内クイズ応募フォームからお寄せください。その他、写真やイラスト、詩・短歌・俳句など、おたよりもお待ちしております。
締め切り：1月26日(月) 必着
※ペンネーム希望の方は必ず書き添えてください。
※頂いた写真などはお返しできませんので、ご了承ください。

切手

〒320-0031 宇都宮市戸祭元町3-10
JAうつのみや組合員広報係
おたより紹介

- ① まちがいがさがしの答え
- ② あなたの郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号
- ③ 本誌に関するご感想・ご意見をお聞かせください。
たて書きでもよこ書きでも応募可能です。

ホームページアドレス <https://www.jau.or.jp>

※皆さまから頂いた情報は、JAの事業および各種サービスの提供・案内・充実などの目的以外には利用いたしません。

おたより紹介

JAの活動内容がよく分かるので、毎回楽しみにしています。
(宇都宮市 鈴木さん)

「健康百科」は参考になります。また、青壮年部の方には頑張っているです。(宇都宮市 阿久津さん)

12月号のレシピ「家族で楽しむおいしい一皿・サトイモと鶏肉のみそグラタン」がおいしいそうです！
(河内郡上三川町 本田さん)

毎年のウインターセールが楽しみです。特に「なべ焼うどん」はおいしいので、皆さんにオススメです。
(宇都宮市 黒崎さん)

毎月生産者の方々のご苦労を感じ、ますます感謝して食べようと強く思います。(宇都宮市 鈴木さん)

12月号の「特集・農業祭」の様子がほのぼのと、とても楽しそうです。
(宇都宮市 郷間さん)

※お寄せいただいたおたよりは、内容の意味などを変更しない範囲で校正させていただきます。あらかじめご了承ください。



こたえ 「ポタンナベ」

12月のクロスワード 答え

1	ト	7	ナ	10	カ	イ	17	ア	20	ゴ
2	オ	デ	ン	15	セ	イ	ボ			
3	メ	シ		13	オ	ノ	ウ			
			8	コ	ロ	ン	18	ア		
4	コ		12	ウ	ド		19	ベ	21	ソ
5	タ	9	モ	ト		16	ホ	コ	ウ	
6	ツ	ミ		14	デ	シ		ベ	ル	

編集後記

今月号の表紙「農like」農likeはトマト農家さん。実は私、トマトのハウスに入るのが初めてで、終始ワクワクしていました。取材を通して「おいしいトマトはこのように作られているのか」と、とても勉強になりました。(ひかり)



南部宮農経済 センター **たより**

各支所の活動や地域の
情報をお届けします！



南部地区ドローン組合「フライワークス」

農業者の高齢化や人手不足が深刻化する中、農作業の省力化と農産物の品質向上を目的に、南部地区ドローン組合「フライワークス」では、農業用ドローンによる農薬散布作業を請け負い、活躍の幅を広げています。

同組合は2020年、地域の農地を熟知した地元メンバーにより結成され、現在は17人体制へと拡大しました。請負件数も年々増加しており、2025年度の延べ防除面積は1,000ヘクタールを超える実績を挙げています。

また、個別の請負防除に加え、JAうつのみやが実施する管内の一斉防除にも参加し、JA事務局職員と綿密な打合せのもと、事故防止や安全散布の対策をとりながら作業を進めています。こうした取り組みが高く評価され、2023年には「第4回栃木県農業大賞 芽吹き力賞（栃木県知事賞）」を受賞しました。

今後の活動について、戸崎勇丞代表は「JAや組織メンバーとの連携を密にし、計画的で安全な散布を進めながら、地域農業の振興に貢献していきたい。米・麦以外にも、トウモロコシやタマネギなど露地野菜の防除にも対応を広げていきたい」と、意欲的な目標を語っています。



麦・赤かび病防除（4月下旬）



ドローン安全散布講習会

南部地区管内でのドローン防除に関する
お問い合わせ・ご相談は、以下までご連絡ください。

南部宮農経済センター（営農課）
TEL：028-656-8484

活躍の幅を広げる南部地区ドローン組合「フライワークス」のメンバー▶



「農協委員」制度終了のお知らせ

長年にわたり皆さまにご協力をいただきてまいりました「農協委員」制度につきまして、農協委員の担い手確保の問題や、その他昨今の情勢等の変化もあり、今後どのように運営していくかJA内部で協議を重ねてまいりました。

さまざまな検討の結果、同制度は令和7年度末（令和8年2月28日）をもって終了することとなりました。

<制度終了後の対応について>

- これまで農協委員の皆さまにJAからお願いしてきた業務について、制度終了後（令和8年3月1日以降）はJA職員が個別に対応していく予定です。
- 制度終了に伴い、新たな農協委員の選任は不要となります。
- 地域独自で農協委員が関わる取り組み・取り決め等がある場合は、今後、地域にて調整いただきたく、何卒お願い申し上げます。

これまでご協力をいただきましたすべての方に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも当JAを何卒、よろしくお願い申し上げます。



※この件は、既に農協委員、事業運営委員、総代、関係する自治会（長）の皆さまにご案内をさせていただいております。

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	上河内支所	028-674-3333
宝木出張所	028-622-6111	河内支所	028-673-3135
平石支所	028-661-4311	南河内支所	0285-48-2211
南部支所	028-656-1020	上三川支所	0285-55-1510
城山支所	028-652-0711	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
北部支所	028-665-0003	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	上三川営農経済センター	0285-55-1511
姿川支所	028-658-6881	住宅ローンセンター	028-622-7100

各種お問い合わせはこちらへ

- 📄 キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120-08-2065
- 🚑 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120-258-931
- 🏠 JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555
- 🚛 LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配送
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先028-633-0085